

ドローンがみた、 おぐにの風景 No.53



⑤3 五味沢地区

五味沢地区ではかつて木地製作が盛んに行なわれていました。『小国町史』によると寛政2年に会津若松の職人を招き、その技術を習得したとあります。農閑期の副業として奨励されていたが、大正時代の初めには衰退していきました。その後、五味沢の塗師職人である斎藤千代吉氏によって再興され、昭和30年代まで木地製作が続けられました。

この伝統工芸技術を現代に復興し、後世に伝えるため、平成6年には同地区内に白い森木工館がオープンし、現在も木工品の製作体験や交流の場となっています。